

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立青梅総合高等学校	和太鼓部	米山博英 藤井浩太郎

1 当該部活動の基本方針

- ①感染予防を徹底したうえで効率的な活動を行う。
- ②練習内容の精選等を行い、平日2時間・休日3次官程度の練習時間での活動を行う。
- ③まん延防止等重点措置期間中の土・日・祝日の練習は実施しない。
- ④活動後のミーティングは効率的かつ短時間でおこなう。
- ⑤練習後は速やかに帰宅し、帰宅時において特に感染リスクが高いことを十分に理解させて帰宅指導を行う。

2 活動場所における感染症対策

- ①視聴覚室と部室の窓と出入口は解放し、廊下の窓も解放して活動する。
- ②使用場所の消毒を行い、特に出入口の扉の消毒は徹底して行う。
- ③感染対策である消毒を効率的にできるよう、活動場所の整理整頓を徹底する。

3 活動前後の感染症対策

- ①練習前後の各自消毒を徹底する。
- ②使用する道具は練習後全て消毒する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ①更衣は年次を分けた時間差で行い、互いに適切な距離をとり会話をせず速やかに行う。
- ②使用場所の出入口扉の消毒を行う。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- 【活動中の感染対策についてミーティングを行い、以下のことを徹底することとした】
- ①笛の演奏等でやむをえずマスクを外す場合は2m以上距離をとり、演奏の合間の会話する場面では必ずマスクを再度着用する。
 - ②かけ声を伴う活動は自粛し、演奏中の指示にはジェスチャーやホワイトボード等を活用する。

※ 各学校の実態等に合わせ、様式を適宜変更してください。